令和４年度佐賀市生活安全推進協議会

【開催日時】

令和５年２月１４日（火）１０時００分から１１時３０分まで

【開催場所】

佐賀市役所庁舎２階　庁議室

【出席者】

委　員：山口　夕妃子会長、宮﨑　和彦副会長、石井　孝嗣委員、坂田　艶子委員、池田　敏憲委員、石丸　正信委員、伊東　悦子委員、姉川　祐紀委員、貝原　真由美委員、山口　功規委員、上村　晴彦委員、川西　宏委員、山口　英委員、池田　一善委員、中村　祐二郎委員（１５名）

事務局：片渕市民生活部長、中村生活安全課長、藤尾生活安全課副課長、田中主任（４名）

【会議の公開又は非公開の別】

一部非公開

【傍聴人の数】

０名

【会議次第】

１　開会

２　会長あいさつ

３　議事

（１）市内における犯罪の概況について

（２）防犯カメラに関する施策ついて　※非公開

（３）その他

４　連絡事項

５　閉会

【議事内容】

1　事務局からの説明内容

別紙議事資料のとおり

2　委員からの意見、質疑等

委員からの意見、質疑等	事務局からの回答等
議事１　市内における犯罪の概況について	
（佐賀南警察署） ・佐賀南警察署所管内における令和４年の刑法犯認知件数は、前年比で 100 件ほど減少した。 ・刑法犯の中でも多い万引きが大きく減ったことが要因 ・一方で、空き巣、忍び込みなどの侵入型窃盗は増加した。 ・そのほか、所管内の特徴として、ストーカー事案については佐賀大学生の被害相談が多い。 ・SNS やマッチングアプリによる被害も増加しており、対策が急務 ・人の恋愛感情を利用してお金をだまし取る手法が多いので、騙されていることを信じてもらえないケースもあり、説得には時間がかかっている。	
（佐賀北警察署） ・佐賀北警察署所管内における令和４年の刑法犯認知件数は、前年比＋25 件ほどと微増した。 ・詐欺等の知能犯が前年比＋22 件で、前年比増の主な要因になっている。 ・そのほか所管内の特徴として、大型商業施設（ゆめタウン）内での自転車盗や盗撮も多い。 ・特に自転車盗は、令和５年１月は前年比で大幅に増加しており、新型コロナウイルスによる行動制限の緩和でこういった街頭犯罪が増えてきているものと思われる。	
（自治会協議会） ・以前クレジットカード会社から使った覚えのない請求があり、内容を確認すると amazon で不正に買い物をされたことによる請求があった。 ・結果的にカード会社から補てんされ実害がなかったため警察には相談しなかったが、こういったケースも警察へ届け出したほうがよいのか？	（佐賀南警察署） ・クレジットカードをスキミングされたことによる被害の相談は多い。 ・カード会社によっては、警察への被害届の受理番号を確認して返金するケースもある。 ・まずは警察へ相談をしてほしい。

委員からの意見、質疑等	事務局からの回答等
議事１　市内における犯罪の概況について	
（会長） ・犯罪件数に上がっていない潜在化している事案も相当数あるものと考える。 ・そういったケースもしっかりと情報共有を図り、未然に防止する対策を考えていくべきと考える。	（事務局　生活安全課） ・各委員がおっしゃったような詐欺に関しては、市の消費生活センターでも取り扱っている。 ・警察への相談に敷居が高いと感じる場合は、身近な消費生活センターへの相談も選択肢に入れてほしい。
（地域婦人連絡協議会） ・いらない着物や靴を買い取るので自宅訪問したいという電話がきたことがある。 ・詐欺の可能性が高いので、必ず電話を切るよう、周りの人にも情報共有している。	
（佐賀中央郵便局） ・市の取組である児童の見守りサービスについて、市内 44 局ある郵便局に見守りスポットの機器を設置するなど、郵便局として協力していきたい。 ・そのほか、集配のバイクや車にも見守りステッカーを貼り付け、日ごろから児童等の見守り活動を行っている。	
（PTA 協議会事務局） ・児童見守りサービスは、いつごろ全ての小学校でサービス提供開始できそうか？	（教育長） ・まずは一部小学校での開始を想定しているが、令和 5 年 4 月すぐに開始することは難しい。この見守りサービスは郵便局や店舗などの見守りスポットの数が重要であり、そういった意味ではスポットを多く設けられる市街地での普及を想定している。
（子ども会連絡協議会） ・近年ニュースで話題になっている闇バイト（強盗等）に、市内の中高生等が巻き込まれないか懸念している。 ・また、子どもが SNS などに悪ふざけ動画を投稿して炎上するニュースも多く目にするが、その点も対策を検討していただきたい。	（事務局　生活安全課） ・市では毎年全ての中学校を対象に県警と連携して防犯教室を行っているので、闇バイトなどの時勢に応じた内容を盛り込めるよう検討する。 （教育長） ・先日、各小中学校に対しメールで SNS に関する注意喚起を行った。また、各学校での情報教育の中で、インターネットへの投稿の危険性（デジタルタトゥー、損害賠償対応等）を重点的に教えるようにしている。また、保護者に対しても今年度中に情報教育通信を配布し、同じ認識を持ってもらえるよう工夫したい。

委員からの意見、質疑等	事務局からの回答等
議事１　市内における犯罪の概況について	
（会長） ・SNS への投稿による炎上の件は、子どもたちは友達に対してだけ発信している感覚で、世界に向けて発信しているという認識はない。 ・親の目線から見たら、子ども一度の悪ふざけで世間から非難され人生が台無しになることは目に余る。 ・一方で、企業側としては死活問題であり、損害賠償請求など毅然とした対応をせざるを得ない。 ・やはり、いかに未然に防ぐか、子どもたちに SNS の怖さをどう教えるかということはとても重要と考える。	
議事２　防犯カメラに関する施策について	
非公開	
議事３　その他	
（身体障害者福祉協会連合会） ・大和交番に直接電話した際、佐賀北警察署へ繋がってしまうが、どうなっているか？	（佐賀北警察署） ・交番については、所外活動を推進するため、令和４年４月から全ての交番の直通の一般回線を廃止している。